

単元名 読書を楽しむ・翻訳作品を読み比べよう

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 活動を通して本の魅力を感じ、今後どのような本を読みたいかを考えることができる。

翻訳の違いによって作品の印象が異なることを知り、他の翻訳作品を楽しもうとすることができ

きる。
(2) 二人の翻訳者による「星の王子さま」を比較し、表現の違いによる作品の印象の違いについて発表することができる。

これまでの読書生活を振り返り、豊かにするためにできることを具体的に考えることができる。

(3) 本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを進んで知ろうとし、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を共有しようとする。

進んで表現の効果について考え、学習課

題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとする。

標準的な展開例

11210118_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 教材文を通読し、様々な読書活動を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習目標を確認し、本時の学習課題をつかむ。 ★様々な読書活動を知ろう。 ○教材文を通読する。 ○「本の紹介合戦」、「読書ポスター」、「本のリスト」の中から、夏休みに行く活動を選ぶ。 ○活動の内容に沿って、見通しを立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・本の紹介合戦は読書記録を基に本を決め、その読書が伝わるような紹介の仕方を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・読書ポスターは、グループでテーマを決め、それに合った本を選ぶ。 ・読書記録は記録の仕方を確認する。 ○グループごとに活動を行い、活動の感想を発表し合う。 <p>○次時は「翻訳作品を読み比べよう」(p. 84)を読んでいくことを知る。</p> <p>2 翻訳作品について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★翻訳作品について知ろう。 ○「星の王子さま」や読書コラムを読み、「翻訳」の意味や「翻訳作品・海外文学」のおもしろさについて理解する。 ○二人の翻訳者による「星の王子さま」を読み比べる。 ○翻訳の違いによる作品の印象の違いについて考え、発表し合う。 <p>○「本の世界を広げよう」(p. 87)を参考に今後読みたい本を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域の状況に応じて、指導者が活動を決めてもよい。 ・教材文を基に、手順やポイントなどを示した活動計画書を用意し、配付するとよい。 <p>・教室ではなく、学校図書館で授業を展開することも考えられる。</p> <p>【評】感想を発表する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館から本を借りてきて、実物を見せることなども考えられる。 <p>・人物の言動や様子が描かれた表現を基に、人柄や心情の違いを捉えさせる。</p> <p>【評】作品の印象の違いについて話し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する</p>

【 備 考 】

読書は、身近なことばかりではなく、時間や空間を超えて、自分では経験できない世界を生きることを可能にする。その世界で、いろいろなものの見方や考え方、感じ方をする人たちと出会い、自らの生き方を見つめる機会にさせ、読書の楽しみに気付かせたい。

読書は一人で味わう楽しみもあるが、多くの人と感想などを交流することで、その楽しみは膨らんでいく。ここでは、一年生に向けた読書案内を作成することを通して、自分の読みを振り返るとともに、他者の選んだ本や感想などを交流して、読書の幅を広げるきっかけとしたい。